



今年の目標! 「圃場作業スケジュールを考えよう！」

本年も、皆さんの役に立つ情報発信に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします！
 今年は、新年の抱負を決めるだけでなく、「圃場作業スケジュール」について考えてみませんか？
 年間スケジュールを決めておくことで、自給飼料を効率よく、品質良く収穫する助けになるはずですよ。

自給飼料の増産を目指す上で、重要なことのひとつが「**タイミング**」です。適期刈取りはもちろん、夏枯れ・刈取り危険帯を避けるタイミングを事前に把握し、対策することが重要です。
 和牛農家Aさんの圃場作業スケジュール作成例を見ながら、自分のスケジュールを作成してみましょう！

ステップ1 1年間の作業を書き出す

Aさん【和牛繁殖経営】
 ・牧草、水稻を作付け
 ・牧草の収量確保が課題

裏面の圃場作業計画表の様式に現在の圃場作業を書き込んでみましょう。
 牧草以外にも、水稻や稲WCSについても書き込みましょう。

分類	作業内容	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
牧草	早春施肥				[緑色塗り]												夏枯れ危険帯						刈取り危険帯								
	収穫										1番草			2番草									3番草								
	追肥																														

実際に書き込んでみると、夏枯れ・刈取り危険帯に刈り取ってしまったいなあ。最近の収量低下は、これが原因かも？

ステップ2 作業時期を見直す

裏の圃場作業計画表にも、牧草の収穫適期等について記載しているから参考にしな！

そうですね。Aさんの場合は、2、3番草の収穫時期を早めて夏の暑い時期や刈取り危険帯を避けましょ。

そのために、**オレンジ色**で示したような

分類	作業内容	3月			4月			5月			6月			7月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
牧草	早春施肥															
	収穫															
	追肥															

- ・ 早春施肥を早める
- ・ 1番草の収穫を早める
- ・ 1番草後の追肥を効率的に行う
 (1番草収穫の合い間でも晴れが続かないときは追肥する) などの工夫をオススメします。

チェック 作業時期の見直しを行うときは、牧草以外の作業との兼ね合いも考えながら進めましょ！

ステップ3 圃場の条件をまとめる

作業者同士で共有できるように圃場の番号や名前を付けておくと◎！

作業計画表を完成させるにあたり重要なのが**圃場条件についてまとめること**です。

まとめ方は、ノートに書き込むほか、航空図などに直接書き込む方法もオススメです。
 作業に関わる人、全員が確認できる様式にましょ。

右の項目以外にも、気になる特徴は随時書き込みましょ！
 これらをまとめておくと、草地更新の優先順位を決めるときにも役立ちましょ！

- < 項目 >
- ・ 牛舎 (自宅) からの距離
 - ・ 面積 ・ 草種 ・ 排水性
 - ・ 雑草割合 ・ 草地更新の有無
 - ・ 収量実績 (ロール個数等)
 - ・ 仕事量 (人数×時間、日数等) 等

⑦ 面積2.5ha オートゲラ 排水性○ 雑草割合60% 草地更新検討中

⑧ 面積1.0ha イリアンゲラ 排水性△ 雑草割合30%

⑨

⑩

⑥ 面積1.5ha オートゲラ 排水性○ 雑草割合10%

牛舎



ステップ4 圃場ごとの作業順を決める

次に、**どんな牧草がどのくらい欲しいか**考えてみましょう。
 「育成用のタンパク高めの牧草が100ロール欲しい」
 「ガサ重視の繁殖牛維持期向けの牧草が300ロール欲しい」
 など…欲しいものに合わせた収穫を考えていきましょう。
 そして、圃場ごとにどういう牧草をとる圃場かを決めます。

ステップ3で作成した圃場条件を使って、作業の順番を決めてみましょう！

例えば、タンパク高めの牧草をとる圃場は、
1番早く収穫を始めて、適期に終わらせる必要があるため、
①まとまった面積がある、②自宅からできるだけ近い
ところを選びましょう。Aさんの場合だと⑧の圃場でしょうか。

なるほど！いつもは自宅周りの①～⑤の小さな圃場から始めていたけれど、今年は⑧の圃場からスタートしてみよう。その次は⑥だな。⑦は草地更新を検討中だから、後に回そうかな。

圃場ごとの収穫作業の順番が決まりましたね！



ステップ5 作業計画表に書き込む

ステップ2で見直した作業時期に、ステップ4で決めた作業順を書き込むほか、実際の作業日や作業してみて気付いたことをどんどん書き込みましょう。
実績を書き込んでいくことで、進捗管理ができるだけでなく、今年の作業の振り返りができ、翌年以降の作業計画表を作成する際に役立ちます！
 作業計画表を上手く活用して、効率的で品質の良い牧草生産につなげましょう！

実績をもとに作業時期等を見直しながら、**毎年、計画を磨き上げていくことが重要なんだね！**



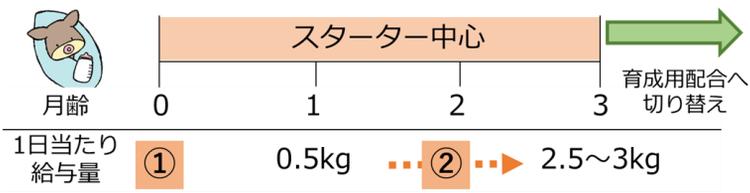
《子牛を大きく育てよう！》～岩手県肉用牛飼養管理マニュアルから～



○スターター給与について

スターターは、**栄養補給**や、**第一胃の絨毛を刺激して発達させる**ために重要な飼料です。絨毛が発達することで、栄養を効率よく吸収し、体高のある子牛になります。

スターター給与のポイント



容器は、視界をさえぎらない浅めのものにしてね！安心してごはんを食べられるよ！



① 生後1週間頃、少量から開始

- 最初は、食べ物だと認識しないことが多いため
- ・子牛の口に強制的に数粒入れる
- ・代用乳（粉）や糖蜜をかけて嗜好性を高める

② 給与量の切り替えは徐々に

急激な餌の変化は、下痢などの原因になるため、切り替えるときは牛の状態（糞）を見ながら徐々にいきましょう。



③ 水（寒冷期は温湯）の給与

常時きれいな水が飲めるように準備



④ 餌ごとに別な容器を用意

容器を別々にして残餌の量を確認Q 確認後、残餌は必ず取り除きましょう！



⑤ 粗飼料は初めは遊び食い程度に

第一胃が発達するまで粗飼料は消化できません。目安は50g/日から。